



▶ 日々の活動は、Instagram Search **本田 ひろし** で検索！！

▶ 議員活動・地域活動・その他（抜粋）



6月議会一般質問

委員会改選に伴い、6月議会から経済産業委員会の委員となりました。同委員会は、**基地政策局・経済部・農林水産部・港湾部及び農業委員会**の所管に属する事項を審査します。委員会においては、佐世保市の礎である港を意識しながら、佐世保市の再浮揚のカギとなる観光経済から基地経済まで学びを深め、佐世保市民はもちろん、観光客の皆様にも求められる佐世保づくりに注力していきます。



友人と偶然の再会

キックボクシング団体KNOCK OUT（ノックアウト）のスーパーウェルター級の王者である津崎選手です。本市内ジムでジムメイトでしたが、上京し努力を重ねた結果、大活躍！！嬉しい再会でした。

▶ 6月議会を終えて【より身近な議員を目指して】

地域要望の一例をご紹介します。

右上段の道路は、交通量が多い県道で、右折レーンの白線が不明瞭になっており、渋滞の原因であるとのご相談を受けました。県道であったことから、山下ひろふみ県議会議員にご相談いたしました。

右下段の溝蓋は、路面から陥没しており、車両や人の通行に危険を及ぼす可能性があるとの改善を求めたいとのご相談でした。市道であったことから、担当部署に繋ぎました。

いずれも必要性・緊急性をお認めいただき、早期の対応となりました。ありがとうございます。

佐世保市の公式LINEからも損傷箇所の報告が出来ますので、ご活用ください。もちろん、私に対するご相談もお待ちいたしております。



ビフォー



アフター



1. 本市における地域介護予防活動支援事業について（抜粋）

身体機能及び認知機能のアウトカム（成果・影響）に関する考え方、並びに事業継続に係る人材育成の必要性について伺いました。

問：介護予防活動における体力測定は、3ヶ月後までだけではなく、**長期間、継続的に測定する必要がある**と考えますが、佐世保市のご見解をお伺いいたします。

答：課題としては、**人力的制約があること、体力測定の結果が低下することを危惧する**利用者が参加不調になる可能性を鑑み、初回と3か月後のみと設定しています。

問：本市で実施する個別の認知症スクリーニング「物忘れ相談プログラム」及び「T-DAS（ティーダス）」の**実施件数と対応が必要と判断された方の人数**をお教えてください。

答：令和6年度の実施件数と対応が必要と判断された方は、物忘れ相談プログラムが**946名中174名**、T-DASが**232名中99名**でした。

問：3.3人に1人が認知症である割合から、本市では、認知症やMCIの方は推計約2万2千人となります。この数字とスクリーニングの実施件数の差は、懸念事由であり改善すべきと考えます。ついては、**集団で出来るスクリーニングで広く効率的にアプローチし、その後、個別の認知症スクリーニングを実施してはどう**でしょうか？

答：今後、高齢者施策において、認知症の早期発見・早期対応は重要であり、多くの市民の方が安心して利用できるスクリーニングの方法について**検討する必要があると認識**しています。

まとめ：この先、どれだけ少子化対策をしても高齢化率30%強は維持されていきます。だからこそ介護予防や認知症予防に一層力を入れることが、**将来の社会保障費の抑制にもつながる**ものと考えています。日本一高齢者に選ばれる街を目指してください！！

2. 行政組織の機能強化策について（抜粋）

経済・観光事業を担う各部局におけるイベントの管理状況について、部局横断的に行う取組の今後の方向性について今後の展望について伺いました。

問：各部局が実施するイベントの目的や成果、集客実績、それらの情報管理の現状について、**庁内でどのように一元化し、全職員への共有を図っているのか**、課題も含め伺います。

答：過去に、部局間の情報共有不足により類似のイベントが重複し、来場者減につながったことから、**部局横断的に連携**することを心がけています。

問：「食」に関する取組は部局共通であることから、**行政組織の機能強化策**として、職員の課題意識向上や目的意識の共有に強く踏み込むべきではないでしょうか？

答：**副市長を中心に組織体制の強化**を行い、より実効性のある取組に努めていきます。

▶ 気になるキーワード

< 認知症のアウトカム（成果・影響） >

認知症ケアや治療によって得られる結果や成果のことです。認知症の症状の改善、生活機能の維持・向上、行動・心理症状（BPSD）の軽減、介護者の負担軽減、QOL（生活の質）の向上などが挙げられます。

< 認知症スクリーニング >

認知症の疑いがある人を早期に発見するための検査のことです。認知症の可能性をふるいにかけるように、簡易的に検査を行い、認知機能の低下が見られる人を抽出します。

< MCI >

軽度認知障害のことで、認知症の一手手前の状態を指します。認知機能の低下が見られるものの、日常生活にはまだ支障がない状態です。早期発見と適切な対応によって、認知症への進行を遅らせたり、健常な状態に戻る可能性もあります。

▶ 略 歴

1979 | 昭和54年3月22日生まれ（46歳）

東大野幼稚園 ▶ 三川内小 ▶ 三川内中

▶ 佐世保南高 ▶ 広島大学 法学部法学科

2003 | 平成15年 実家の窯業にて父に師事

2006 | 平成18年 衆議私設秘書・公設第一秘書

2013 | 平成25年 市長私設秘書

2022 | 令和04年 社会医療法人財団白十字会 入社（現職）

2023 | 令和05年 佐世保市議会議員 初当選（広田在住）

▶ 本田ひろし後援会事務所

【住 所】 〒859-3157 佐世保市桑木場町450-2

【電 話】 080-8396-3629

【mail】 hiroshihonda.official@gmail.com



後援会入会

